

Intoroduction

～ まちの人紹介 ～



雄武町新日の出町

まつもと あや
松本 亜也 さん



「雄武町の素晴らしい、そして牛と共々生きる酪農の楽しさを多くの人に知ってもらいたいです」と話すのは、令和2年の秋ごろから町内の牧場に勤めている松本さん。以前は、東京都拠点にグラフィックやウェブのデザイナーをしていましたが、その頃からもっと自分が好きだと思えるものを多くの人に知ってもらおうデザインをしたいと思っていたそうです。4年前に北海道を訪れた際に、北海道の自然豊かな土地に惹かれて移住することを決意し、札幌市で2年間過ごしてみて、もっと北海道の一次産業に携わりたいと考えるようになったときに、北オホーツク農業協同組合で実施している酪農の「まきば」のシステムを知り、応募することを決めたと話してくれました。

「現在も東京からのデザインの仕事はリモートワークで行っていて、

北海道の一次産業である酪農などの「ブランドینگ」やデザインも手掛けるようになりました。そして、朝と夜は町内の牧場で牛舎の掃除や子牛の世話などを行っています。「酪農の仕事は、力仕事があって大変なこともありますが、牧草からこだわって牛を育て、牛と共生し暮らしていく酪農という仕事に魅力を感じ、好きになりました。牛と戯れた日々が楽しいです」と仕事にやりがいを感じているそうです。

「酪農と雄武町が好きになり、仕事以外でも、仲間と一緒に酪農や雄武町をPRする酪農オンラインツアーやオンライン授業を行っています。こういった活動をとおして、雄武町のすばらしさ、酪農の楽しさを世界中の人に知ってもらえるよう頑張りたいです」と自身の目標に向けた熱意が感じられました。

*ブランドینگ：ブランドに対する企業側と顧客側に共通のイメージを認識させる活動のこと

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

▼雄武町の海岸線沿いにも流水が接岸し、見渡す限り海が白く染まると寒さが一層厳しさを増し、寝るときに布団をかぶっても寒さに震えることがあります。そんなときは、かけ布団の上に毛布を一枚重ねるだけで、布団のぬくもりが逃げにくくなるので、皆さんも試してみてください（松井）

◆編集後記

Editor's note

▼新型コロナウイルス感染症がオホーツク管内でも連日2桁を超え、道内にもまん延防止等重点措置が実施されています。今年もこの感染症との戦いは続きます。今年こそは終息を願って、今まで以上に感染予防対策に力を入れていきたいと思ひます。（結城）